ESET PROTECT on-prem V13.1 リリースノート

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

（2026 年 9 月）

■ はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET PROTECT on-prem V13.1（以降、本製品と記載します）を正しくご利用頂くための情報が記載されています。
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■ 本製品のコンポーネント

本製品を利用頂くためには、以下のコンポーネントをインストールする必要があります

- ESET PROTECT Server
- ESET PROTECT Web Console
- ESET Management Agent

次のサポートコンポーネントは必要に応じてインストールしてください。

- Rogue Detection Sensor
- ESET Bridge

■ 本製品で利用可能なデータベース

本製品は、以下のデータベースをサポートしています。

- Microsoft SQL Server 2016
- Microsoft SQL Server 2017
- Microsoft SQL Server 2019
- Microsoft SQL Server 2022
- Microsoft SQL Server 2025
- MySQL 8.0
- MySQL 8.1

- MySQL 8.4
- MySQL 9.0
- MySQL 9.1
- MySQL 9.2
- MySQL 9.3
- MySQL 9.4
- MariaDB 11.8

■ 本製品の ESET PROTECT Web Console で利用可能なブラウザ
本製品の ESET PROTECT Web Console は以下のブラウザをサポートしています。
Web ブラウザを常にアップデートすることを推奨します。

- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Google Chrome
- Safari
- Opera

■ インストール前の注意事項
本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- 本製品のオールインワンインストーラーを保存したフォルダーのパスに日本語が含まれている場合、インストールができません。パスに日本語が含まれないフォルダーに保存して実行してください。

- 本製品は、日本語を含むユーザー名のユーザーでインストールすることはできません。

- 旧バージョンの ESET PROTECT から、本製品に直接アップグレードすることができます。アップグレード前に、データベース等が本製品のサポート要件を満たしていることをご確認ください。詳細については、以下をご確認ください。
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/151?site_domain=business

- 本製品の各コンポーネントをインストールするサーバーに、それぞれ以下のプロ

グラムがインストールされている必要があります。

□　ESET PROTECT SERVER （Windows 版）
- Microsoft .NET Framework 4 ※
- 本製品で利用可能なデータベース

※ Microsoft SQL Server 2022 をインストールする場合、Microsoft .NET Framework 4.7.2 以降が必要です。サーバーマネージャーの機能の追加よりインストールするか、Microsoft の Web ページからダウンロードしてインストールしてください。

□　ESET PROTECT SERVER （Linux 版）

□　Redhat 系 OS に必要なパッケージ名一覧
- openSSL 3.x
- cifs-utils
- samba　**※1**
- samba-winbind-clients　**※1**
- openldap-clients
- policycoreutils-devel　**※1**
- lshw
- krb5-workstation　**※1**
- cyrus-sasl-gssapi
- cyrus-sasl-ldap
- net-snmp-utils　**※1**
- net-snmp　**※1**
- nss
- atk
- at-spi2-atk
- libXcomposite
- libXdamage
- libXrandr
- libxkbcommon
- mesa-libgbm
- pango
- alsa-lib
- tar
- 日本語フォント（任意の Linux 用日本語フォント）

- 本製品で利用可能なデータベース
- 本製品で利用可能なデータベースコネクタ　**※2**

□　Debian 系 OS に必要なパッケージ名一覧

- openSSL 3.x
- cifs-utils
- samba　**※1**
- ldap-utils
- libsasl2-modules-gssapi-mit
- lshw
- krb5-user　**※1**
- snmp　**※1**
- libnss3
- libatk1.0-0
- libatk-bridge2.0-0
- libxcomposite1
- libXdamage1
- libxrandr2
- libxkbcommon0
- libgbm1
- libpango-1.0-0
- selinux-policy-dev　**※1**
- libasound2
- libcups2
- libcairo2
- 日本語フォント(任意の Linux 用日本語フォント)
- 本製品で利用可能なデータベース
- 本製品で利用可能なデータベースコネクタ　**※2**

※1　用途に応じて導入してください。詳細はオンラインヘルプをご確認ください。
https://help.eset.com/protect_install/13.1/ja-JP/database_requirements.html?prerequisites_server_linux.html

※2　利用可能なデータベースコネクタは、オンラインヘルプをご確認ください。
https://help.eset.com/protect_install/13.1/ja-

JP/database_requirements.html?database_requirements.html

□　ESET PROTECT Web Console（Windows 版）
- Java/OpenJDK 17, 21, 25　64bit
- Apache Tomcat 9.x, 10.x　64bit（最新版を推奨）

□　ESET PROTECT Web Console（Linux 版）
- Java/OpenJDK 17, 21, 25　64bit
- Apache Tomcat 9.x, 10.x　64bit（最新版を推奨）

□　Rogue Detection Sensor（Windows 版）
- WinPcap 4.1.0 以上

□　ESET Management Agent （Linux 版）
- openSSL 1.0.1e-30 以上 3.x 以下
- lshw

■　製品マニュアル

本製品のマニュアルにはオンラインヘルプとオンラインヘルプ補足資料があります。
はじめにオンラインヘルプ補足資料を確認してください。
オンラインヘルプ補足資料は「ユーザーズサイト」よりダウンロードすることが出来ます。

ユーザーズサイト
https://canon-its.jp/product/eset/users/

オンラインヘルプ（インストール/アップグレード/移行）
https://help.eset.com/protect_install/13.1/ja-JP/

オンラインヘルプ（管理）
https://help.eset.com/protect_admin/13.1/ja-JP/

■　旧バージョン（V13.0.13.0）からの変更点について

以下の機能が追加されました。

- ランサムウェア修復によるファイルの手動復元

  ランサムウェアの影響を受けたファイルのバックアップデータからの復元およびバックアップデータの削除をタスクにより管理できるようになりました。

- 複数の Syslog サーバーのサポート

  指定した Syslog サーバーに異なる種類のログ（検出・監査・通知の各種ログ）を転送することが可能になりました。

- サポート対象のデータベースの追加

  Microsoft SQL Server 2025 と MariaDB 11.8 以降がサポート対象となりました。

- サポート対象の Web コンソール用コンポーネントの追加

  Apache Tomcat 10 と Java/OpenJDK 25 がサポート対象となりました。

- サーバーインストール対象 OS の追加・削除

  Ubuntu26.04 がサポート対象となり、Ubuntu20.04 と Debian11 がサポート対象から除外されました。

- 管理対象 OS の追加

  Ubuntu26.04 と SUSE16 がサポート対象となりました。

以下の不具合が修正されました。

- RHEL10 に本製品をインストールしてご利用の場合、レポート機能で生成したレポートを PDF 形式で出力できません。

■ 使用上の注意事項

本製品を使用する前に、以下の内容を確認してください。

□ 製品自動アップデート有効のポリシーが「すべて」に適用されます。
製品自動アップデートを無効にするには、製品自動アップデートを無効に設定したポリシーを作成し、適用する必要があります。
詳しい設定方法についてはオンラインヘルプ補足資料をご確認ください。

□ 本製品のオールインワンインストーラーを用いてアップグレードした場合は、OSの再起動を行ってください。

□ 本製品のソフトウェアインストールタスクよりプログラムをインストールする際、製品バージョンを選択すると、「法的文書に同意している最新の ESET 保護バージョンのインストールを許可します」にデフォルトでチェックが入ります。

チェックが入ることで、選択したバージョンより新しいバージョンの製品がインストールされる場合があります。ご注意ください。

■ 既知の問題

本製品で確認されている既知の問題や制約はありません。
最新の情報につきましては弊社製品ホームページの Q&A をご確認ください。

ESET 製品 Q&A ページ：
https://eset-info.canon-its.jp/support/

プログラムの変更点：
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/2293?site_domain=business

■ 製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：
https://canon.jp/biz/solution/security/it-sec/lineup/eset

ユーザーズサイト：
https://canon-its.jp/product/eset/users/

オンラインヘルプ（インストール/アップグレード/移行）
https://help.eset.com/protect_install/13.1/ja-JP/

オンラインヘルプ（管理）
https://help.eset.com/protect_admin/13.1/ja-JP/